



がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン
—高度がん医療開発を先導する専門家の養成—
シンポジウム

慶應義塾大学, 北里大学, 首都大学東京, 信州大学,
聖マリアンナ医科大学, 聖路加国際大学, 東海大学,
東京歯科大学, 山梨大学, 国際医療福祉大学



入場
無料

申込
不要

がん治療を支える栄養

栄養は、私たちの健康と心の充実を維持する上で大変重要なものです。特に、がんと闘っている患者さんにとっても大変重要な位置を占めます。適切な栄養を摂取している患者さんは、手術や化学療法などを行なう上でどうしても避けられない痛みや副作用をうまく乗り越えられているようです。また、栄養状態が十分な患者さんでは、高い治療効果と良好な回復および生活の質（QOL）の向上が見込まれます。しかし、多くのがん患者さんでは、がんやがん治療の影響のために、十分な量の食事（栄養）を摂取することができていないのが現状ではないでしょうか。栄養摂取の不足は、がんと闘う力を奪うだけでなく、心のバランスや QOL を損ねていきます。

今回、がんと栄養をテーマにシンポジウムを企画しました。がん治療に必要な栄養に関する知識（健康な食事および食習慣、栄養素、副作用時などの食事の工夫など）について、ともに学びましょう。

日時 平成 28 年 2 月 7 日（日）14:00～17:00

場所 信州大学医学部附属病院外来棟 4 階 大会議室

対象者 一般市民、医療従事者

プログラム シンポジウム 14:00～16:00

「がん患者の栄養を支える支持療法」

座長 栗田 浩（信州大学医学部歯科口腔外科学教室教授、
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン支持療法委員会委員）

①がん患者さんにおいて大事な栄養と食事のヒント

加藤 勇太（信州大学医学部附属病院 臨床栄養部 管理栄養士）

②おいしい食事はお口の健康から

小山 吉人（信州大学医学部附属病院特殊歯科・口腔外科 歯科医師）

宮崎 詠里（信州大学医学部附属病院特殊歯科・口腔外科 歯科衛生士）

③がん患者さんの”口からたべる”を考える。

～摂食嚥下リハビリテーションの流れと事例検討～

池田 裕子（信州大学医学部附属病院特殊歯科・口腔外科 歯科医師）

寺島 さつき（信州大学医学部附属病院リハビリテーション部言語聴覚士）

④がん患者さんとご家族への栄養についての関わり

百瀬 華子（信州大学医学部附属病院 外来部門 通院治療室

がん化学療法看護認定看護師）

特別講演 16:00～17:00

「がんと栄養に関する総論的な内容および静岡がんセンターでの実際の取り組み」

座長 小泉 知展（信州大学医学部包括的がん治療学教室教授、
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン信州大学コーディネーター）

演者 稲野 利美 先生（静岡がんセンター栄養室室長 管理栄養士）

お問い合わせ先

信州大学大学院医学系研究科
がんプロフェッショナル
養成基盤推進プラン事務局

〒390-8621 松本市旭 3-1-1（松本キャンパス）

TEL：0263-37-2580

E-mail：mgaku_gp@shinshu-u.ac.jp

会場までの交通

バス

松本バスターミナル（JR 松本駅前「アリオ」1 階）のりば 1「信大横田循環線」または「浅間線」に乗り、「信州大学前」下車

お車

医学部附属病院外来駐車場に駐車してください。（有料）



主催：がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 高度がん医療開発を先導する専門家の養成

併催：信州大学医学部附属病院 栄養サポートチーム

併催：信州大学医学部附属病院 口腔管理センター

共催：アボットジャパン